

科目名:理容実習 シェービング I 科目コード:J140 フェイストリートメント I 科目コード:J150

単位名:理容科 ヘアデザイン ブライダルシェービングエステ

2単位(60単位時間)シェービング I 2単位(60単位時間)フェイストリートメント I

開講時期:1学年(前期)

担当教員 :長瀬 達雅 福本雅彦

●科目授業の目的と学生の達成目標:

シェービングは危険を伴う技術なので、刃物の持ち方、操作を十分に理解する。
又、皮膚・髭についても理解が必要。

●成績評価の方法:

準備、スチーミング及びラザーリング。

●教材・ならびに教育方法:

相モデル実習

●特に必要な教育方法、講師、協力企業等:

●この科目の今後の展開

メンズグルーミングの傾向に向いている。今後、髭のデザインなども必要になってくる。

●備考

2 単位（60 単位時間） シェービング I

回	時限	授業内容・授業方法	実務経験のある教員
1	8	シェービングの位置と姿勢 レザーの持ち方（ウィッグの姿勢） 正しい姿勢と剃刀の持ち方を理解する。	
2～4	8	ラザーリング・添え手（ウィッグ使用） ラザーリング、添え手の必要性の理解	
5～6	8	スチーミング・てん包法・密着法・正拭法（ウィッグ使用） スチーミングの役割と必要性の理解。	
7～ 10	8	ネックシェービング（ウィッグ使用） ネックシェービングにおけるレザーの取り扱い方法の理解。	
11	8	ウィッグによる確認テスト。 レザーの運行、安全性と正確性の確認。	
12～ 14	12	相モデル実習（刃を入れない） ウィッグと人間の違いを理解する。 安全性と正確性	
15	8	相モデル実習（刃を入れる）・ウィッグと人間の違いを理解する。 安全性と正確性	

2 単位（60 単位時間）フェイストリートメント I

回	時限	授業内容・授業方法	実務経験のある教員
1	4	お客様に対するタオルの巻き方、シェービングクロスの掛け方。 ターバンの巻き方。作業部位に対する立ち位置の確認。	
2	4	マッサージクリームの塗布方法。立ち位置の確認 左右の首のマッサージ。下顎隅部～口角～頬部～額～目の周りへの マッサージ。	
3	4	顎部～鼻～人中～オトガイ部へのマッサージ。 乾燥タオルによる拭き取り。	
4～ 14	44	相モデル反復練習	
15	4	確認テスト	